

低山県の千葉県

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

さて、新年 1 回目の OB 山行は富山（とみさん）で、千葉県の山は OB 山行史上初だそうです（詳しくは本誌 P14 をご覧ください）。OB 山行は首都圏の山が圧倒的に多いですが、千葉県だけはありませんでした。多分、低山しかないからでしょうか。

都道府県別の最高峰ランキングの最上位は、当然富士山を擁する静岡県・山梨県です。逆に最下位 47 位が千葉県です（蛇足ながら、都道府県別平均標高ランキングも千葉県は 45m で最下位です）。同県の最高峰は愛宕山で 408m。そんな山は知らない、と言われそうです。県内唯一の 400m 台ですが、頂上は航空自衛隊のレーダー基地があり事前申請をしないと頂上に行けない不便な山ですから、知名度も低いのでしょう。一方、同県で有名な山であれば鋸山でしょうか。石切り場の遺構や地獄のぞきなどがありますし、中腹には広大な境内の日本寺（にほんじ）もあります。しかし、標高は 329m で県内第 18 位です。ちなみに前述の富山は 349m で県内第 7 位です。

もう 1 年前になりますが、2024 年 2 月の日経新聞に「低山人気を「宝の山」に」という記事がありました。登山アプリの「YAMAP」に記録された登頂回数を集計すると、登頂回数が多いのは勿論長野県や山梨県ですが、コロナ禍前の 2019 年と 2023 年を比較した増加率では、1 位沖縄県（5.57 倍）、2 位香川県（4.74 倍）に次いで 3 位に千葉県（3.84 倍）が入りました。どれも低山県ですね。山中での時間が長い登山者は交通費以外の消費は限られますが、低山の登山者は下山後に地場料理を食べたり、お酒を飲んだりするゆとりがあるので、地元への貢献が大きく低山を観光資源として「宝の山」にすることができるという内容でした。我々も下山後は飲んで食べて、大いに地元へ貢献しましょう（単なる酒飲みの自己弁護ではありません）。1 月の OB 山行では千葉県にたくさんお金を落としましょう。車でお越しの方は、地元産の食品などもお土産にどうぞ。（千葉県民の編集委員長から）



前号の観天望記で書きました「小咄 都々逸」の続きです。「赤ちゃん背負って、烏帽子を下り、おむつを替えたら、○○○○○」の最後の 5 文字は、「モウコハン」です。「もう湖畔」と「蒙古斑」の 2 つの意味です。みなさん、秋の夜長に正解にたどり着いたでしょうか。